

回大根は微笑む (六卷)

アシヤ現代映畫

原作並脚色者 笹尾純一郎氏
監督者 古海卓二氏
撮影者 大塚周一氏

――主要役割――

泥田空兵衛 淺野 節氏
息 李太郎 藤間 林太郎氏
浦田百助 小島 洋々氏
息 象一 海山 政五郎氏
安來節の女山瀬お町 柳 まさ子嬢
朝鮮人天卦烈 高島 幸郎氏
娘 幽蓮 櫻 あや子嬢
馬賊 風船玉 里 見 明氏

〔略筋〕模範村として近郷に知られた青蛙村に私立文化農學塾創立一週年記念祝賀會が開催され、村長兼校長の泥田空兵衛と大根栽培學の講師浦田百助は塾の發展を共に喜び合つた。然し百助の息象一は常に父の意見が合はず、今日も一味と語らつて祝賀會の假裝行列と見せて父の事業に對する反對運動を行つた。こゝした事から親子の争ひ益々烈しくなつて行く時この村へ安來節の一行が入り込んで来た。そしてその花形山瀬町子の美艷は村の平和を亂し青年達に悉く彼女に憧れた。泥田村長は之を憂ひ百助に安來節立退の談判を依頼したが百助もお町の美貌に魅せられ却つて象一の爲散々の日に逢はされた。勿論象一も彼女を慕ふ一人であつたがそれはやがて失戀に了つた。象一は愛犬進を連れて失戀の痛手を癒やすべく旅に上つたが、何時か朝鮮まで来て幽蓮と云ふ美人を馬賊の手から救つて色男になつた積りだつたが、それは夢であつた。都に出た象一は或る日偶然にも象一の行方を探して都へ出て来た父百助の危難を救つた。そして親と子は初めて和睦し、その上零落したお町を助け象一は久し振りに故郷に歸り父やお町と共に大根の栽培を勵み平和な日は永く續いた。

「大地は微笑む」をモジつて奇想天外な笑劇

たらしめんと作者は企圖したものであらうが、それは充分に成功して居ない。諷刺もユタながら一貫した筋を持つて居るし主要人物の名や字幕に於ても作者は可成り頭を絞つて居る。監督の如何に依つてもつと奇抜な映畫に成り得たと思ふ。然しかうした映畫を充分成功させるには只技巧あるのみであるから短日時に作り上げればならぬ現在の日本映畫の監督者にそれを望む事は無理に云はねばなるまい。「ホリウッド」を眞似た夢の場面など技巧一つで「ホリウッド」までに行かずとも少し如何にか成つたであらうと思つた。俳優に至つて平凡で此映畫を生かすに足る者は一人もない。只海山氏の象一の大きいのが印象に残るだけである。撮影にも不満が多い。――山本鞆葉――
興行價値――題名既に奇であり、「大地は微笑む」の記憶未だ新なるだけにそれをモジつた人名や内容も受ける事確である。
(六月十八日 大阪青邊劇場封切)